

200歳 万歳!

200歳まで生きる会
H十九年九月第十六号

「今度、200歳まで生きる会を発足しますよ。あなたも参加しませんか」と

敬愛してやまない七田眞先生からお言葉を頂戴いたしました時には、人間の可能性を信じることにかけては人後に落ちないと自負する私ですが、内心仰天いたしました。

お話を伺うにつれて、旧約聖書や中国の神秘的文献、ヒマラヤ密教、インド聖典などで多くの不老長寿伝説が流布していることが脳裏を過ぎりました。

思い起こせば、ヨーガ禅の佐保田鶴治先生は大学退官後、ハタヨーガ(身体操法)を極め、多くの後進を育成されました。中村天風先生は六十過ぎに不治の病を得て、世界中の医療を尽くした上に、インドのヨーギに出会い、病は治癒し、天風哲学を確立・大成されました。植芝盛平先生は四十歳代に講道館創始者加納治五郎先生に柔道の理想であると認められましたが、ご自身は満足できず六十歳過ぎて、今日の合気道を完成されました。七田眞先生も喜寿のお祝いをされたと同いました。宇部観音千佛寺の隅井妙典先生は今年

94歳、ますますご壮健であられます。七田眞先生とのお出会いで「200歳まで生きるのなら」と壮大なプロジェクトを開始された由、伺っております。

以上は、私が直接ご尊顔を拝した先生方です。このような生き証人と、古来よりの伝承を見てまいりますと、人間の可能性には限りがないと実感されます。

インド叙事詩「マハーバータ」の登場人物のエピソードをご紹介します。

『古代の人達は、神を敬う人生のために長生きしたいと願い、その目的で身心の健康を保とうと努力しました。今日の人は六十か七十歳の年齢に達すると老人と呼ばれます。』

しかし、昔は八十、九十、百歳という歳になっても若いと考えられていました。学生諸君、あなたがたは、「マハーバータ」で読んだかもしれないが、クルクシエトラの戦いの頃、クリシュナとアルジュナは、それぞれ八十六歳と八十四歳でした。しかし、彼等は若さにあふれ、活力と勇猛心をもって戦争に参加しました。カウラヴァ軍の司令官は誰だったでしょうか。それは百十六歳のビーシュマでした。こんにちであれば、百十六歳の人は寝たきりになって、全身を震わせ、ベッドから起き上がるのにも他人の助けが必要なことでしょう。しかし、ビーシュマは七日間にわたって激しく戦いました。これをどのように説明しますか。その理由は、彼等の精神力と健康を保つよい食物と、何よりも「自

信」(真我への信頼)によるものでした。』(出典:サティアサイババ「プリンダヴァンの慈雨」国際語学社)

「200歳」入会をお奨めいたしますと、皆様困惑されますが、入会されると「年齢の限界感が外れて、閉塞感が減り、気宇壮大になりますね。」と共通の感想をもたれるようになります。

七田眞先生、影に日向に細やかなご配慮の御奥様、副会長の濱須光由先生、顧問の濤川栄太先生、会員の皆様に深く感謝申し上げます。そして、ますますの発展を祈念いたします。



野原元成(のはらもとなり)

1942年沖縄県生まれ

60歳を機に、「自然運筆法(じねんヨーガ)」を一般公開する。

七田眞先生を特別顧問に迎えて「ハムサの会」を主宰。

著書「自然運筆法入門」「自然ヨーガ体験記」

連絡先 東京都目黒区「アトリエ・ハムサ」

TEL・FAX 03-5722-3522

Mail: a-hamsa@agate.plala.or.jp

ホームページ <http://www.jinen-unpitsuhou.com/>

特集記事

ミネラルこそ若さの泉

1 健康な生活にはミネラルが欠かせない

ミネラルのことを研究している第一人者はワラック博士だといわれます。ワラック博士は病氣、栄養、長寿の研究に取り組み、454種、約17,500体の動物と、3,000人の人体を解剖し、電子顕微鏡で検査をしました。その結果、病氣のほとんどはミネラルの欠乏から起きると結論づけました。

「人間は誰しも同じ遺伝子構造を持っているのに、健康、長寿に差があるのは、食している植物が育つ土壌の成分構造が違っているからだ。大切なのは、炭水化物、脂肪、たんぱく質、ビタミンではない。これらは生命体の中で太陽エネルギーによって作り出されるが、ミネラルは生命体の中では作られず、すべて土壌に存在するものを摂るしかない」と博士は言うのです。

博士がこの結論にたどり着くには、随分年月がかかっています。スタートは博士の少年時代にさかのぼるのです。

ワラック少年は、ミズーリ州の牧場で育ちました。家畜の世話に汗を流す日々を過ごし、子牛の飼育をしていて、ふと疑問に思ったのです。子牛の飼育には、ビタミン、ミネラルと言った栄養分を与え、病氣や不妊、奇形などの予防に努めるの

に、なぜ人間はビタミン、ミネラルを摂らないのだろうと不思議に思ったのです。

ワラック少年は、14歳の時、まぶたがけいれんするという奇病にかかりました。けいれんはカルシウム不足によって起こると健康書にあったので、ポケットに子牛用のえさを詰め込み、キャンディー代わりにそのえさを食べたのです。すると4日ほどでけいれんがきれいに治りました。

少年は、この経験から、14歳にして医師の中には栄養について知識が乏しかったり、まったく知識がなかったりするものがあると学んだのです。ワラック少年は、子牛用のえさを摂ることによって、けいれんが治ったばかりでなく、頑健な体になり、重量挙げに参加するまでもになりました。

少年はその結果、健康な生活にはミネラルが欠かせないのではないか、と考えるようになったのです。

少年は家畜の世話をしながら、ミネラルは、生命体の中では作られず、すべて土壌に存在するものを摂る以外にないことを学びました。そうして土壌の栄養不足は家畜の病氣や死亡を招くこと、そこで熟練した酪農家は、家畜のえさに必ずビタミン、ミネラルを加えることを、体験的に学び知ったのです。

2 病氣のほとんどはミネラル不足が原因

ワラック少年は、高1〜高2年の夏、セントルイス動物園で働くようになりました。彼の仕事はこの動物園に生後1週間やって来たフローレンスとパールという名の2匹の小象にミルクを与えることが仕事でした。同時に、サプリメントを1

日に3回、ミルクと一緒に与えることを忘れないようにと、ペテランの飼育係から指示を受けました。

ペテランの飼育係は、ワラック少年に毎日象の飼育ノートをつけることを命じました。彼は、ノートに毎日与えたえさや栄養を記述するようにと命じられ、特に青い粘土を手のひらに何杯分か食物として与えることを命じられたことに、深い関心を示しました。

2匹の小象たちは、その粘土の塊をとんでもおいしそうに食べるのです。実は小象たちは、それによって生命体に欠かすことのできない微量ミネラルを摂取していたのです。

大学生になったワラック青年は、大学の実験用家畜にえさを与え、乳を搾る実験に加わりました。その実験の目的は、最大量のミルクを産出することでしたが、しかしどの牛からもコップ一杯以上のミルクを得ることができず、実験は採算がとれず、失敗に終わりました。

大学では有機化学を学びました。有機分子の反応や相互作用に常に無機物のミネラルの触媒の助けが必要、それなしには生化学的反応は達成されないと言ったのです。

酵素やビタミン、ホルモンの働き、細胞内の化学反応、すべての代謝にはミネラルが必要。それなしには生化学的反応は達成されないと知ったのです。

妊娠中のミネラル欠乏と、それに伴う先天性奇形についても学びました。妊娠中のミネラル不足で胎児に奇形が生じるのです。彼は妊婦に適切なミネラルを与えると、最高98%の奇形の予防ができるかと学び知ったのです。ほとんどの場合、先

天性奇形というのは、単なるミネラル不足と実験を通して学びました。そうして遺伝性と考えられる病気のほとんどが、ミネラル不足が原因と学び知ったのです。

3 ワラック博士の結論

ワラック青年はこうして、ミネラルについて学び続け、すべての動物と人間の自然死は栄養不足が原因であると結論づけました。1960年代は世間はビタミンに関心を集中していました。ミネラルに関心を向ける人はまだ少なかったのです。

ミネラルの中でもセレニウムを摂ることの必要さに着目しました。セレニウムを摂ると、筋肉の諸問題が解決するのです。不妊やアルツハイマー、筋ジストロフィー症、心筋症、心臓病などが、セレニウムを適切に摂ることで解決するのを知りました。

セレニウム不足で老人特有のシミや斑点が生じます。皮膚の表面に100個のシミがあると、脳、目、甲状腺、心臓、肺、肝臓、腎臓など、目に見えない内臓や筋肉に何千、何万となく、シミがあるのです。このシミこそ、フリーラジカル（遊離基）といい、腐った脂肪が集まってできたもので、細胞の機能を低下させ、ガン、アルツハイマーを助長させます。セレニウムを摂ると、表皮のシミが消えるばかりか、内臓のシミも取れるのです。

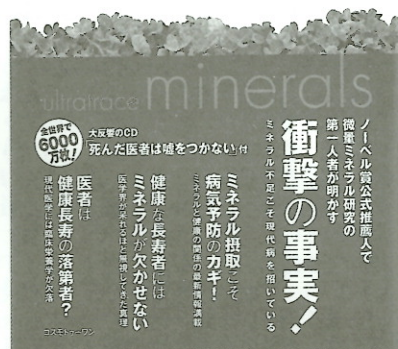
白髪や関節炎など、すべてはミネラル不足であることを知りました。

野生の動物でも、栄養失調から、つまりミネラル不足から病気に犯されると学びました。その土地に生育する植物や水とか土などに、動物は依存していたのです。そうして健康を保てない、不幸

微量栄養学の世界的権威が解明！

ミネラル革命

カリフォルニア大学医学部
ゲルハート・シュラウザー
山本健一訳



な動物の方が、はるかに多いことも学びました。熱中症や酷暑による死亡は、塩やナトリウム不足によって引き起こされるのです。夏は塩を摂ることが大切です。熱射病は塩と水で治療が可能ながことが知られています。

このように、ミネラルは、健康で病気のない長寿生活には欠かせないものだったのです。実際人間は、石器時代から主要なミネラルや微量ミネラルを含んだものを、意識的に口にしてきたのです。

4 動物園のえさにミネラルの必要性が認められる

1960年代は、人々の関心はビタミンに集中していたので、動物園でもほとんどの動物はビタミンA、ビタミンC、ビタミンE、ナイアシンなどのビタミンをサプリメントとして与えられることになりました。でも、ミネラルにはまだ目が行っていませんでした。

ワラック博士が「ヤークス霊長類サーチセンター」に落ち着くと、それまでは動物園にいた若い類人猿は骨軟化症、生長した類人猿は骨粗しょう症というように、骨に問題が多く見られました。

えさといえば、穀物、野菜、果物が中心で、ミネラルの必要性についてはほとんど考慮されていなかったためです。

ワラック博士のリサーチセンターでは、動物達に「モンキービスケット」がえさとして与えられるようになりました。これには、小型猿や類人猿に不可欠なビタミン、ミネラル、アミノ酸、必須脂肪酸がすべて含まれていました。これらの栄養素は博士の何千にも及ぶ研究に基づくものでした。

「多くのミネラルは、動物の栄養補給に欠かせない」という考えは、1920～1978年ごろまでは注目されていましたが、その後あまり関心が持たれなくなりました。1980年代には、腹痛からガンに至るまで、すべての症状を特許取得可能な遺伝子操作技術によって処理しようという大きな動きが起こり、医師の関心がそちらに移ってしまつたのです。こうしてミネラルに関する研究は、最先端の科学において「省みられない孤児のような存在」になっていました。

5 植物性のコロイド・ミネラルこそ若さの泉

遺伝子学上可能とされる寿命の、120歳～140歳に到達するためには、食品からの栄養摂取だけでは不可能です。そのために、ワラック博士は最低限のサプリメントを1日3回摂るように推奨しています。

人間の寿命の限界は、168歳とされています。1990年、世界保健機構は、健康と長寿に関しては、先進32カ国を調査しました。この時の調査では、アメリカ人の平均寿命は75.5歳、遺伝子学上可能とされる寿命の約半分です。

アメリカのモルモン教会員や、セブンスデー、

健康情報

錆びた体を元に戻す還元健康法

アドベントイスト教会員は平均82歳の寿命で、普通の平均よりも6、5年も長生きであることが明らかになっています。その違いは何でしょう。この人たちは、カフェイン、アルコール、喫煙、油で揚げたものを生活から排除しているからだと言われている。指摘されています。コーヒー、ソーダ水、お茶、アイステイー、アルコール類、ラード、ショートニングなどを摂らない生活習慣に長命の原因があるのです。

健康に100歳、あるいはそれ以上に長生きする唯一の道は、毎日欠かさず90種の基礎栄養素を十分に摂取するように心がけることが大切といわれています。

ミネラルの助けがなければ、人間の体は機能しないのです。ビタミン、DNA、RNA、染色体、ホルモン、エネルギー、酸素さえも、ミネラルがなければ機能できないのです。

ミネラルこそ、健康と長寿を決定する要素であり、若さの泉なのです。

長寿に必須栄養素の摂取が大きくかわっていることは、多くの動物や、人里はなれた種族の研究調査でも明らかになっています。彼らが定住している山々や土壌には、60ないし72のミネラルが含まれていることがわかったのです。人々に健康と長寿を与えるのは、植物系コロイド・ミネラルだったのです。コロイド・ミネラルは、土壌に含まれるミネラルが穀物や野菜、果物などに吸収されて、植物系コロイド・ミネラルになったものです。

植物から抽出されるコロイド・ミネラルこそ、若さの泉の正体なのです。

1 還元健康法の基本は食品にあり

還元健康法とは、錆びついた体を元に戻す健康法のことです。体は酸化させる食品を体の中に入れば入れるほど錆びついて、健康が脅かされることになります。

逆にこの錆を取る還元反応を引き起こす還元物質を体の中に入れてやり、錆びついた体にその還元物質を結合させてやれば、あとは自然に錆が取れた体に戻ります。さらに、錆が取れた体に還元物を入れ続けられれば、体は錆つかず、健康長寿が保たれることになります。

食品に酸化力の高い食品と、還元力の高い食品があるのです。酸化力の高い食品とは、自然界に存在する食品もありますが、多くは化学物質やその他の化学添加物をふんだんに含んだ加工食品が主です。加工食品が恐いのです。

逆に、食品として理想的なのは、まったくの野生の食物です。なぜかというと、人工的な要素や化学物質が取り込まれていないからです。理想をいえば、野生の果物や植物を生で食べるのがいちばんよいのです。それらに含まれる水には、最も還元力があることが実験的にも証明されています。果物や野菜といっても、外国の輸入品はいけま

せん。外国から入ってくる農作物、果物類には、ポストハーベストといって、必ず害虫駆除やカビ防止のために危険な化学薬品が使われているからです。

2 化学物質は恐い

化学物質は口からだけ入るものとは限りません。美容室などで使用されるコールドパーマの液体には、何種類もの化学薬品が混入されています。シャンプーもいけません。歯磨きにも化学物質が入っていて、知らずに毎日毒物を口に入れているのです。化学物質は内から摂っても外から摂っても恐いと認識することが大切です。

ところで、ミネラルには100種ぐらいあることが知られていますが、それらは個々に摂っても意味がありません。カルシウムや、鉄、亜鉛などが不足したから病気になったといっても、本当はそんなに単純なものではないのです。総合ミネラルであることが大切なのです。それも生物から摂った生物ミネラルであることが重要です。

ミネラルバランスが大切なのです。では、ミネラルウォーターならよいのでしょうか。市販のミネラルウォーターは、とてもよいバランスの取れたミネラルウォーターとはいえないと、還元健康法を説く中山栄基さんは言います。

市販のミネラルウォーターは、地中の鉱物に含まれている水溶性のミネラルを含んだ水です。これはどうしても土、砂、岩石などのミネラル分布の影響を受け、カルシウムが多く、カリウムが少なくなっています。

海洋深層水は海水より塩分が少なくなっている
ので、カルシウムが少なく、カリウムも少ないの
です。どういうミネラルバランスの水がよいのか
といえは、限りなく体液に近いバランスのものが
よいのです。市販のミネラル水には、そういうも
のはありません。

3 ミネラルがよい

ミネラルは鉱石から摂るのではなく、植物から
摂るのがよいのです。山野草、樹木葉の他に、海
藻からも摂れます。樹木葉は落ち葉などでもよい
のですが、汚染されていないことが条件です。

生物ミネラルのすごさを少し紹介しましょう。

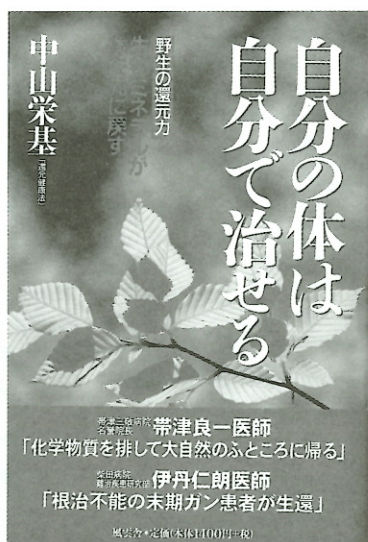
生物ミネラルを作っておられる中山先生は、ある
時、仲間が目から真っ赤な血を滴らせて戻ってき
たとき、びっくりしました。弓なりになつていた
竹が戻ってきたとき、その先が目に当たったとい
うのです。慌てて眼科医に連れて行き、手当てを
してもらいましたが、痛みが少しも取れません。
あまり痛がるので、生物ミネラルを水に溶いて薄
めたものをその傷口にスプレーで何度か吹き付け
ました。すると10分もたたないうちに、あれだ
け痛がついていた激痛が消えてしまったのです。

30分しても痛みはぶり返さないとのこと、
それならもう1度と、その水溶液を目に吹き付け
て寝かせました。

翌日、彼の目を見ると、前夜あった、ひつかい
たような傷が、なくなっているではありませんか。
もちろん痛みもなく、普段と変わらないのです。
念のために病院に行くと、まったく治っていると

のこと。驚きました。中山先生は、老眼が進んで
裸眼で見るのは無理だと観念し、眼鏡をかけるよ
うになっていました。ところが、生物ミネラル水
をちよつとなめてみたのです。すると視力に大き
な変化が起き、ぼやけていたものがはっきり見え
るのです。そこで仲間に、このミネラル水を少し
飲むと、目が見えるようになるのではないかと伝
えました。するとみんなは、みんなでミネラルを
なめて、なめる前と後でどれぐらい違つて見える
か試そう、ということになりました。

ミネラルをなめて25分後、ミネラルをなめた
4人全員が裸眼では見にくい小さな文字が見える
ようになったのです。生物ミネラルを飲み続けて
いる中山先生は、老眼鏡がまったくいらなくなり
ました。生物ミネラルを発売しておられる門脇社
長の、76歳になるお母さんは、生物ミネラルを
飲むようになって、眼鏡がいらなくなり、針に糸
が通せるほど視力が回復されました。



祈りと長寿

人は祈りによつて、右脳を使いこなすことが出
来ます。右脳は人間の深層意識につながる脳で、
無心に祈り続けると心が集中して、深い深層意
識に入ります。深層意識に入ると人は神とつなが
ることが出来るのです。

祈りは神聖なバイブレーションなのです。その
バイブレーションによつて神とつながることが出
来るのです。

夜寝がけに次の祈りを唱えましょう。すると若
返り、長寿を保つことが出来ます。

ヒマラヤには400歳を越す聖人達がいます。
その一人にどのようなしたら、そのような長寿を
得ることが出来るのかと問われて、次の祈り言葉
を教えてくれました。これこそ永遠に若さを保つ
祈りの言葉です。

「我が内は常に若く、常に美しい霊的な喜びで
満たされている。我が心も目も鼻も口も皮膚も美
しい霊体である。我が身体は神の子の体であり、
今宵、今完全である」

夜寝がけにまず瞑想をして、この祈りの言葉を
無心に唱えましょう。すると、夜、潜在意識に植
えつけられたこの祈りの霊的な力により、変性が
おこり、内なる実相が開顕して、霊体に浸透して
いきます。

人の体は肉体と霊体のダブルで成り立っている、
と言われています。

祈りのバイブレーションはこの霊体にまず影響
を与えます。霊体が目覚めると、その影響が肉体
に現われます。

トピックス

驚きの水素パワー

だから祈りによって実相である霊体を目覚めさせる、やがて肉体にその成果が現われてきます。霊体はすなわち真我で、真我には死せる細胞や、疲れ果てた細胞を捨て、新しい細胞を作り出す働きがあるのです。

だからこの祈りのバイブレーションは永遠の健康と美を作り出すことが出来るのです。

すべては意識の中にある

意識は人間が心の中に持ち続けている観念や信念によって決定されます。

ヒマラヤの聖者は「老いない。永遠に青春である」と信じれば、その通りになる、と言います。

ヒマラヤの聖者は、「人間一人ひとりの中に完全な理念としての神がある。完全な存在として、すべての人の中にある。必要なのは心を鎮めることだ」と言います。心を鎮めて、はつきりとした形で必要なものを意識の中に描き出し、「すでに与えられた」と言葉に出して言う、と、観じた通りの善きものとなって出現するというのです。

それは明確な法則に従っており、神より与えられた力と想念の力とを正しく開発するだけで、誰でもその気になればこの法則が使用出来るとヒマラヤ聖者は言います。

ヒマラヤ聖者は「人は心の働き、想念の働きによってキリストと同じ意識を持ち得る。想念の力でキリスト意識が自分の中にあると認めれば、自分の肉体を変質させ、進化させることが出来る。望むものを純粋な、霊的な、完全なものとして心の中で描き続けるとバイブレーションが上がり、やがて完全な形となって具現化して現われる」と、その法則の使い方を説明しています。

人体にとって、いちばん大切なのは、水です。水は人体の70%を占めているといわれ、水がなければ人は死んでしまいます。けれども、どんな水でもよいという訳ではなく、良い水であることが、摂取するのに大切な必要条件です。

水素をたくさん含んだ水が良い水です。水は酸素と水素が結合して水になっています。その水素に病気の元となる有害な活性酸素を押さえる力があり、免疫力を高めてくれる働きがあるのです。

酸素は生体にとって、極めて重要な要素で、酸素を絶たれたら、人間は直ちに死に至ります。しかし、その酸素が活性酸素やフリーラジカル（悪玉酸素）を体内に精製する働きがあるのです。活性酸素が万病の元を言われ、細胞から電子を奪って酸化の連鎖反応を引き起こします。細胞内のDNAを破壊し、老化を促進させ、癌を含む多くの病気の引き金となったりするのです。

加えて、体内に取り入れられる食品に添加される防腐剤や保存剤などの化学物質や、タバコの煙、水質汚染、大気汚染などがすべてフリーラジカルの原因となります。

それを中和し、除去することができなのが水素であるということです。水素の還元力によって体内の過剰な活性酸素が外部から身体を守る働きがあるということです。水素がそもそも生命の営みの根源に深く

関わっているとされ、水素は多くの病気の源を絶つと言われるようになってきているのです。

それが本当だとしたら、水素を上手に摂取したら、世の中のほとんどすべての病気を駆逐できることになるのではないかと発想した人がいます。それが、株式会社水素研究所の若山利文所長です。

若山さんは奇跡の水として知られているフランスの「ルルドの泉」の水の中には水素イオンが多く含まれていることを知りました。そうして、水素を摂る実験を自分の体を元にして始めたのです。

若山さんは、毎日2ℓも水を飲むのはすべての人に楽にできることではないと考えて、水素粉末を作り、それを摂取してもらうことにしたのです。

まず自分で摂取してみると、2、3週間経つと、体重が減少しました。マイナス水素イオンが体内のエネルギー代謝に大きく関わっているからです。加えて、若山さん自身の前立腺肥大症による残尿感や頻尿感が大幅に軽減されて、尿の切れが見事に改善されることを体験しました。

その結果を病人に当てはめると、薬を飲んでもなかなか下がらなかった血圧、血糖値が1か月もしないうちに正常化した人や、長年の飲酒で傷んでいた肝機能が見事に回復した人、肩やひざ、腰の痛み、首のヘルニアが改善された人、長年の躁うつ病が軽快した人、目じりの小じわが消えた人、不快な耳鳴りが消えて、安眠できるようになった人などが続出したのです。朝立ちが復活した人もいます。

リユーマチや通風、アトピー性皮膚炎にも極めて有効であることが多くの人からのレポートで分かりました。

水素イオンの粉末を、麺類、パン、スナック類、チョコレート、チーズ、ハムなどの練り物に配合すれ

ば、水素イオンの高い還元力で食品の参加を抑える作用があり、防腐剤や保存料の使用を大幅に軽減できるはずだと考えて、早速食品にも、取り入れる実験を始めたのです。

防腐剤をまったく入れないで2組の食パンの練り粉を作り、一方の食パンにくくわずか(0.2%)のマイナスイオン粉末を小麦粉に入れて練り、もう一つの防腐剤を入れない食パンを同時に焼いて、出来上がった2種類の食パンを、室内に10日ほど放置して、その保存状態を比較・観察したのです。すると、誰の目にも歴然とその違いがわかる結果となりました。

水素粉末の入った食パンはくくわずかなカビしか付着していないのに、もう一方の食パンはカビが切り口の前面を覆いつくし、見るも無残な姿となりました。

若山さんはその他いろいろな食品で同じような実験を繰り返し、同じような結果を得ました。

ここで特筆したいのは、そうしてできた水素粉末イオン入りのそばのことです。戸隠そばがそのそばで、水素粉末入りのおいしいそばなのです。戸隠そばを摂った人が、顔中老人斑のような黒いしみでいっぱいだったのに、6か月ほどすると、黒いしみが薄くなり、やがて孫に「おじいちゃん顔がきれいになったね」と言われるようになったのです。

アルカリイオン水を飲んでも、水素の効果は体感しにくいのですが、水素粉末を飲むと、30分〜1時間で、血液が体内を勢い良く流れていくのを体感できるという人もいます。

マイナスイオン水の絶対量が違うからです。水素粉末を飲むと、血液がすぐにサラサラになるのが分かると思います。

水素イオンの粉末を摂取して、色々な症状が良くなった実例を見てみましょう。

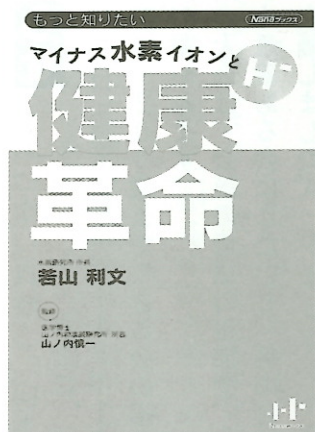
M.Tさん(女性55歳)は長年の膝関節の痛みが、水素を一日4カプセル飲み始め、1か月すると痛みが消え、全身の疲労感が消えてしまう体験をしました。

M.Sさん(女性44歳)も、体の痛みや、痺れ、手首、足首、関節の痛みがマイナスイオンを一日2カプセル摂取し始めると、一週間で手のむくみが取れ、関節の腫れも小さくなり、痛みが無くなりました。キメの粗かった肌には艶が出てきました。

T.Mさん(男性55歳)は、水素イオンを摂り始めると、それまで夜中に目が覚め、十分眠れず、朝起きると、頭がボーっとしていたのが、熟睡するようになりました。

88歳の老人性痴呆症出ていた女性に、水素イオンを一日2カプセル摂らせると、体調が良くなり、食欲も出て、頭の回転が良くなって、冗談を言い、周りの人を笑わせたり、俳句を作るようになりました。

水素イオンについては、「水素と生命」マイナスイオンと健康革命(どちらも若山利文著「Nanabooks」の2冊の本が出ています)。



良書推薦コーナー

10週間で若返る方法(ロナルド・クラッツ著/廣済堂出版) 1,470円(税込み)

この本には、抗加齢医学と、その研究をする学会、「アメリカ抗加齢医学会」のことが紹介してあります。

アメリカ抗加齢医学会は、1993年アメリカで誕生しました。

この学会のメンバーには、一つの共通する基本的な考え方がありとあります。それは、年をとることは避けられないが、老化は避けることが出来るという考え方です。老化というプロセスは、抑止することも、止めることも逆行させることさえ出来るということです。そのことは、動物実験や人体試験でも証明されており、カロリーの摂取量を大幅に制限したマウスやネズミはふつうの2倍も長生きし、虫の老化にかかわる3つの遺伝子を操作したところ、寿命がふつうの5倍にも延びたと書かれています。

人間にも、いろいろな抗老齢化の取り組みをすることによって、長寿が図れると、この本は述べています。

中でも、若さのペースメーカー「HGH」(人成長ホルモン)のことが主に取り上げられて、紹介してありますが、67歳からHGHを摂りはじめ

たケリー・ネルソンは、4ヶ月後に、ボディビルコンテストの35歳以上の部門で優勝したと書いています。

82歳の医師ジョン・パロンはHGHを摂るようになってから、ウェストのサイズが、心臓発作の恐れのある、1m20cmから健康な72cmまで細くなった。さらに肌が引き締まり、エネルギーや集中力や、記憶力が劇的に高まったことに気がついた。最も嬉しい思いをしたのは、45歳の頃と同じく性生活が充実してきたことだといいます。

いまや世界中で、何十万人もの高齢者がHGH補充療法を受け、さまざまな生活の質が向上したと実感している、とこの本は述べています。この他、HGHについてどの本よりも詳しくこの本は記載しています。

10週間で若返る方法

Ten Weeks To A Younger You Ronald Klatz

ロナルド・クラッツ
麻野邦夫 訳
矢野基一・石田真志 監訳
林有子・岡中浩明 監訳



老化をあきらめてはいませんか?

アメリカ最先端の抗加齢医学であなたも驚異の若返り!!

今からでも遅くない!! 10週間で若返る情報満載

廣済堂出版 定価(送料1600円)＋税

お知らせ

200歳まで生きる会
第二回親睦大会

10月7日(日)、横浜ワールドポーターズ(6F)で、200歳まで生きる会の第2回親睦大会が開かれます。

今回の大会は、会員の皆様の参加型、体験型の楽しく意義ある会にしたいと、係の者達で、熱心に企画しました。

会員の皆様が、1人で参加するよりも、お友達を誘っていただくと、会に楽しく参加でき、有意義に時間を過ごしていただけるのではないかと考え、ぜひたくさんのお友達を誘って頂けるよう、次のようなブースも用意しています。

1. シンキングリンのブース
 2. オルゴン治療体験ブース
 3. 脳波測定ブース
 4. 水素イオンのブース
 5. 光の水のブース
 6. 風音色のブース
 7. ニュージーランドについての情報ブース
- とても展望の良いすてきな会場です。
会費及び、行事日程は次の通りです。
会費 5,000円

日程

受付9時30分より

開式10時より10時〜11時30分まで

① 新役員の紹介

② 七田真会長の講演と実践セミナー

講演テーマ「200歳まで生きる知恵」

③ 昼食休憩11時30分〜13時(ワールド

ポーターズ内に楽しめるレストラン街があります。昼食は各自自由におとり下さい)

③ 13時〜14時

服部禎男先生の話「ホルミシスについて」

④ 14時〜16時

懇親会(ざつくばらんに会員の皆様で自由に楽しくお話ししていただきます)

副会長 濱須光由さんの話から、その後会員の自由トーク

16時 閉会

この後引き続き同会場で16時30分より19時まで、ヒューマンサイエンス主催の講演会が行われます。参加自由(会費3,500円)

講師 七田 真「超感覚開発法セミナー」

編集後記

第2回親睦大会の期日が迫りました。楽しく意義あるものにするために、お友達を多数お誘いのうえ、お申し込み下さい。お申し込みいただいた方には会場までの交通のご案内、及びアクセスマップ、パンフレット等をお送りします。

【発行人】

七田 真

【発行所】

「200歳まで生きる会」

〒695-0011 島根県江津市江津町527-5

☎0855-5215301

FAX 0855-5215797